

県連統一クリーンハイク

& 鴨川メガソーラー建設予定地下見報告

千葉県連会長 広木 国昭 (ちば山の会)

千葉県連統一クリーンハイクを実施しました。詳細については自然保護委員会より報告があると思います。

昨年と同じ金山ダム湖畔の道路沿いのゴミ回収を実施した。その後、鴨川メガソーラー建設予定地の尾根筋を歩いて貴重な南房総特有の自然にふれる事が出来た。この素晴らしい自然を守ることの重要性を改めて実感した。

今年は参加者が極端に少なかった事は残念であった。(3会より12人)
クリーンハイクは自然保護委員会を中心に計画・実施しているが、参加者が年々少なくなっている。いくつかの問題が考えられる ・実施計画が各会からの参加を考慮しているか ・会と会員のクリーンハイクへの関心が低下している等、自然保護を根本から考える必要がある。労山は創立以来、登山者の使命として自然保護に取り組んで来た。千葉県連は、房総の自然を守る運動に参加して大きな成果を残している。各会・会員の皆様に、労山の自然保護運動を考え、行動する事をお願いします。



本日の成果？

昨年と同じコースで実施したが、これだけのゴミがありました。車は入れるが生活ゴミの投棄は無く、耕作地があった時のゴミ類の放置が散見された。釣師のマナーは良くなっていると思われる。

鴨川メガソーラーについて

昼食時に「鴨川の山と川と海を守る会」代表から現状報告を受けた。鴨川市と事業者が、鴨川市田原地区における「太陽光発電事業着工に関する協定」を締結した。しかし、事業者の実態の公表、有害獣対策、市長は市議会に対し事実を公表せず、林地開発許可が出る前日に市議に協定締結を発表する等不誠実な対応があった。「県や市が許可を出したのではどうしようもない」等のあきらめムードも強くなっている。しかし、今後の反対運動の広がりや署名活動が重要です。

守る会は、事業者の環視と県・市の指導體制が機能しているか等を監視・検証して行くとの報告があった。千葉県連も今まで以上の取組みが必要になると思います。今後のポイントは、地元住民のメガソーラー反対運動の盛り上がりや大きくなることと感しました。

池田地区で進む
太陽光発電所 建設計画

止めよう!

2019.5.10 発行

メガソーラー 通信

No.6

鴨川の山と川と海を守る会 [連絡先]E-Mail : kamogawa.mamoru@gmail.com / TEL : 080-1009-6222 (勝又)

業者に、イエローカード!!

許可取り消し
の可能性も



県、条件付き開発許可

鴨川メガソーラー 説明会など開催指導

鴨川市の山林で進む全国最大級の大規模太陽光発電施設(メガソーラー)を建設するための林地開発計画について、県は25日、森林法に基づき、違反した場合に許可取り消しもある4項目の条件付きで許可し、発表した。県の林地開発では条件付きの許可は初めて。住民の理解を得るため、行政指導し現地での説明会や見学会の開催も求めるなど「異例」の対応となった。

県森林課によると、事業区域250haのうち146haを開放。造成の計画期間は2021年4月末までの3年間で、造成後、出力100メガワット、47万枚の太陽光パネルを設置する予定だ。

県森林審議会が答申に盛り込んだ条件などを反映した。許可条件は、現地の土砂が盛り土に適用しているか、現地試験で県の確認を得ることや、工事で伐採した木などが下流で災害を引き起こさないよう適切に処理することなど。

さらに、事業者との協議で、事業区域内を緑地として残す森林率は県基準(25%)の2倍近い48・9%、防災調節池では50年に1度の

4月25日(木) 朝日新聞

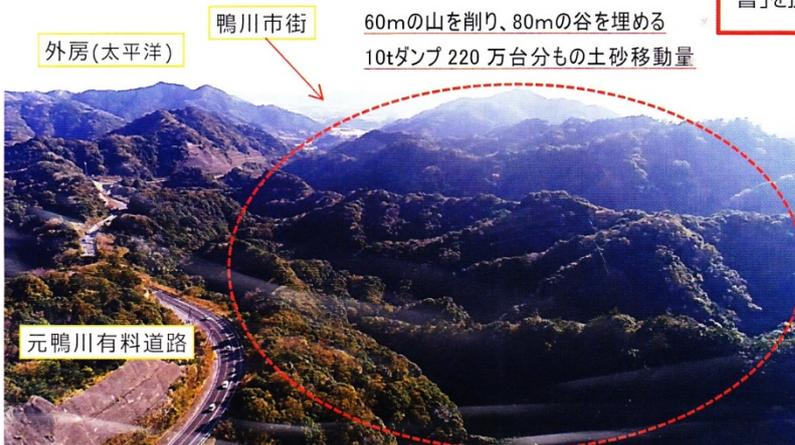
の大雨に対応可能と、県基準の30年に1度より厳しくできたという。県も、着工後は業者に毎月、工事の進行や記録写真などの提出を求め、防災調節池や盛り土などを中心に、県南部林業事務所が週1回、森林課が月1回、現地在を定期巡視するなどの監視体制をとる。説明会や見学会の開催について、事業者は「対応していきたい」と話しているといい、県森林課は「ある程度準備が整う梅雨入り前、6月ごろまでには開かれるのではないか」と話している。(寺崎省子)

5 団体、強く抗議!!

- ・鴨川市漁業協同組合 ・鴨川サーフィンクラブ
- ・安房淡水漁業協同組合 ・鴨川里山を守る会
- ・鴨川の山と川と海を守る会

上記5団体が3月22日に提出した「慎重な再調査と再審査を要望する『緊急要望書』」に回答や説明のないまま、県は許可を下しました。

この暴挙に対して、5団体で強く抗議し改めて「要望書」を提出します。



外房(太平洋)

鴨川市街

60mの山を削り、80mの谷を埋める
10tダンプ 220万台分もの土砂移動量

元鴨川有料道路

※ 事業概要

- ・事業名 池田地区メガソーラー事業
- ・場所 元鴨川有料道路西側、鴨川市池田地区
- ・広さ 事業地 約 250ha(当初より縮小)
森林伐採面積 約 146ha
- ・パネル枚数 約 50万枚
- ・太陽光パネル出力 約 130MW
- ・事業者 「AS鴨川ソーラーパワー合同会社」
本店東京 職務執行者 高山知也
稼働中・計画中のものでは国内第5位、
内陸部では日本最大と言われる規模!

市と事業者間の協定にも、イエローカードを!



3月19日、市と事業者が「鴨川市田原地区における太陽光発電事業工事着工に関する協定」を締結しました。昨年4月に市長が提起した「5項目の要望」を事業者に遵守させることを目的とした協定ですが、内容には首をかじげざるを得ません。たとえば……

事業者の実態を精査する時間が確保されていません

事業者の実態は未だに一切公表されていません。協定では、事業体構成や資金計画を「工事着工の10日前までに書面で通知する」としていますが、これでは中身を精査・評価する時間は全くありません。

有効な有害獣対策が取られるのかが疑問です

計画地周辺住民は有害獣の問題を強く懸念する声を上げてきました。協定では「本件工事に先行して対策を行う」とありますが、具体的な対策内容と効果の検証方法には全く触れていません。

- ◆フェンスの設置場所、形状、設置方法、保守管理方法は?
- ◆フェンス設置後の効果の測定を誰がどのように行うのか?
- ◆それらを市はどのように精査・検証するのか?

真に有効な対策無しの約束は形だけのアリバイ作りにすぎません。

市の不誠実な態度に抗議します

市は4月24日に市議を招集して協定締結を発表。1ヶ月以上事実を伏せた上での、林地開発許可が出る前日の駆け込み公表でした。締結前に議会に協定内容を諮り、実効性のある物にするための議論を行う必要があったのではないのでしょうか。

この計画に反対する多くの市民や地域団体に対して、これはあまりにも不誠実な態度です。

鴨川市「要望履行を」

鴨川市は県から林地開発許可を受けた「AS鴨川ソーラーパワー合同会社」と市側が求めている5項目の要望を確実に履行することを着工要件とする協定を結んだ。締結は3月19日付。25日に開いた定例記者会見で亀田郁夫市長が明らかにした。太陽光発電施設を規制する法律がないなか、計画を不安視する市民の声に応えるために市が独自に結んだ。

協定は地域の良好な環境と市民生活の安全確保が目的で全7条。これまで不明確だった事業体については1条で「合同会社は、林地開発行為の許可を受けた後、着工の10日前までに事業体管理・運営する事業体の具体的な構成を書面で通知、説明する」とした。資金計画についても、着工10日前に市に書面で通知する

4月25日(木)朝日新聞

とした。発電事業終了後の撤去費用については合同会社が「設備・工作物などの撤去および処分を確実に実施するため、建設費の5%以上を積み立てる」としている。さらに事業区域内に生息するイノシシやサルなどが拡散して近隣住民に被害を与えないよう、敷地境界付近に有害獣対策用のフェンスを設置することや、土砂の流出を防ぐなどの工事の安全性確保も申し合わせた。(川上真)

ますます不安・疑念が……

許可は下りたが、審査基準はあくまでも4要件(災害防止・水害防止・水源の涵養・環境の保全)のみで、ソーラーパネル等の発電設備や景観などは審査されないで沢山の課題が山積み。

県・森林課は管理・監督を強化すると言っているが、造成工事中のみである。

- ◇ 事業中は事業者が、事業終了後は地権者が未来永劫、管理し続けなければならない山に改変。管理を怠れば災害・水害を誘発の恐れ。
 - ・盛土、約1300万m³の造成地の管理、
 - ・3か所の調節池の土砂の浚渫、補修などの管理
- ◇ 36万5000本の樹木の伐採による保水力の低下で土砂の崩落・農業用水の枯渇の恐れ。
- ◇ 固化材・チップ接合材・定着剤・浸食防止剤・基盤材(化学物質?)などの大量使用による河川の水質悪化の恐れ。
- ◇ 約47万枚のパネルの反射光・反射熱による環境への悪影響の恐れ。破損の場合の火災の発生・有害物質流出の恐れ。



カンパ、ご支援、ご協力をお願いします。

農、漁、観光業、そして市民生活の将来への影響が懸念皆さんと共に、問題のメガソーラー建設計画を止めよう!!

鴨川の山と川と海を守る会 <振込先> ゆうちょ銀行 00240-2-105182 鴨川つどいの会(鴨川の山と川と海を守る会)
<http://mamorutsudoi.net> [連絡先] E-Mail : kamogawa.mamoru@gmail.com / TEL : 080-1009-6222 (勝又)
 ★フェイスブック <https://www.facebook.com/kamogawa.mamoru/> ネット署名 <https://goo.gl/Bj29HQ>

